



チームワークと命

次長 目崎 淳

すでに報道等でご存じかと思いますが、このところ全国的にインフルエンザ罹患者が急増し、初等部を含む神奈川県内の小学校でも相次いで学級閉鎖をしています。初等部におきましても、これまで同様に手洗いや換気等基本的な感染対策は継続しつつ、教育活動を行ってまいります。また、保護者の皆様におかれましては、これまでも感染防止のためにご協力いただいているところですが、毎日のお子様の健康観察を十分に行ってください、体調不良の際は無理に登校することなく、状況に応じて医療機関を受診するなど適切な対応をよろしくお願いいたします。

また、すでにお知らせ済みですが、集団での練習場面を避けるために、10月7日(土)に予定しておりました学習発表会は、11月25日(土)に延期させていただきます。ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

さて、二学期がはじまってすぐの9月2日(土)～9月4日(月)の3日間の行程で、5年生は宿泊体験学習に行ってきました。行き先は静岡県富士宮市とその周辺です。

『チームワークと命』これが5年生宿泊学習の今回のテーマです。コミュニケーションゲームやオリエンテーリングでは、チームメンバーがお互いに力を出し合って協力し、課題をクリアしていきます。たとえば、幅の広いシーソーにチームメンバー全員が乗り、バランスよく水平に保った状態で一定時間維持させる、といった課題がありました。バランスよくチームメンバーが乗ることができればよいのですが、実はなかなか難しいのです。

メンバーそれぞれが知恵を出して解決しようと様々試みていました。



【シーソーには13人くらい乗ります】

酪農体験では松下牧場を訪問し、牧場主から乳牛飼育の話や絞り出される乳についての講話を聞きました。そして実際に牛舎に入り、牛のお世話を体験もさせていただきました。最後には、とれたての乳でバターをつくり、牧場ならではの体験を多く積むことができました。また、林業体験では実際に森林の中に足を踏み入れ、森林組合をはじめ林業を生業としている方から間伐体験をさせていただき、林業の現状を知ることができました。ノコギリで立木を切ることがいかに重労働であるか、その大変さを感じ取ることができました。



【たくさんの草を食べさせています】

このような活動を通して、自分が考えたことの伝え方、友達の意見の受け止め方など、友達との関わり方について学ぶことができました。また、酪農体験や林業体験では、動植物の命が私たちの生活を支えてくれていることに気づくことができました。

「宿泊体験学習」は教育課程の中では「遠足・集団宿泊的行事」に位置付けられています。そのねらいは、『自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむと共に、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにすること。』です。今回の仲間達とのたくさんの経験が、これからの生活に生きてくることを願ってやみません。

※『 』内、文部科学省小学校学習指導要領解説 特別活動編より引用